

## 第2 教育研究団体の意見・評価

### ○ 全国公民科・社会科教育研究会

(代表者 大山 敏 会員数 約1,000人)

TEL 03-3958-0121

#### 1 前 文

出題内容は学習指導要領に掲げられた教科・科目のねらい及び内容におおむね則しており、基礎・基本を重視したものとなっている。平易な問いを中心に高校生が学習した知識や涵養した思考力に基づき、考えて解いていく工夫が施されている標準的な問題である。ここでは後期中等教育を与える現場からの意見と評価を申し述べる。

#### 2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等

全体を通して質・量ともに共通テスト初年度以来、同程度を維持しているものの簡単に高得点は取れないようにしているという点では少しずつ難化しているように見える。大問4で構成される形式はセンター試験以来継続しており、学習指導要領に則り、基礎的基本的な知識を確認する問いや、確かな基礎的基本的な知識に基づき資料等を読み込み「倫理」で学んだ見方考え方を発展させた思考力判断力を駆使して解く問いを中心に構成されている。難問奇問は見られず平易ながら考えて解く工夫がなされている。大問の状況設定に無理があるのは共通テストならではの制約とは理解できるものの、出題される先生方の専門性を活かした学問としての背景のあるリード文を高校生に読ませ、「倫理」を学習した延長線上に高等教育があることを実感させ、深遠な学問の世界に向かう尊さ、真理の探究者の一員として学問を修めることへの畏敬の念を育てるとともに、学問への真摯な姿勢を涵養する工夫も期待したい。それだけ共通テストがもつ高校生への影響力は大きく、かつ重い。問いの構成も「倫理」で学ぶ内容をただ寄せ集めたものではなく、解きながら体系立てた学びが深まり、大学での研究につながることを感じさせるものであるべきだろう。

以下、各設問について意見と評価を申し述べる。

第1問 「ルカによる福音書」の「善きサマリア人」のエピソードを想起させる会話文を読み、源流思想について考える問題。

問1 イエスの思想と行動、大乘仏教の教え及び朱子の思想について基礎的基本的な知識を問う。

問2 キリスト教からパウロの思想、バラモン教からウパニシャッド哲学、イスラームにおける終末の捉え方及びソクラテスの思想について基礎的基本的な知識を問う。

問3 イスラームの六信のひとつ信仰告白について、唯一神アッラーと預言者ムハンマドを確認する基礎的基本的な知識の問い。

問4 心や心の在り方について基礎的基本的な知識を問う。①仏教でいう五蘊盛苦、②孔子における忠と恕、③原始キリスト教、④ヘレニズムの思想から古代懐疑派の判断停止、などが問われた。

問5 キリスト教思想について資料の読解に基づく問い。「ヤコブの手紙」の意図するところを読み取る力とルターについての基礎的基本的な知識が求められる。

問6 仏教思想について資料の読解に基づく問い。『ダンマパダ』の一節が意図するところを読み取る力と仏教思想の考え方についての基礎的基本的な知識を問う。

問7 ソクラテスについての資料の読解とプラトンについての知識理解に基づく問い。ソクラテスの発言とされる資料文の意図するところを読み取る力とプラトンの魂の三分説についての基礎的基本的な知識を問う。

問8 陽明学についての資料の読解に基づく問い。七情については資料を読めば理解できるだろう。

第2問 二人の生徒の二つの会話から、日本思想について考える問題。

問1 中世思想から西行と兼好を選ぶ。アは「各地を旅しながら…」で西行、イは「無常」と「随筆」で兼好と分かる基礎的基本的な知識の問い。

問2 儒学者についての基礎的基本的な知識を問う。①雨森芳洲、②石田梅岩、③中江藤樹、④荻生徂徠。

問3 近松門左衛門について『冥途の飛脚』の読解と彼の作風について基礎的基本的な知識を問う。

問4 夏目漱石と和辻哲郎の思想について基礎的基本的な知識を問う。

問5 古代・中世日本の神々について基礎的基本的な知識を問う。

問6 近代日本の社会問題を考えた人物について基礎的基本的な知識を問う。水平社宣言を起草した西光万吉を選ぶのは基礎基本。

問7 親鸞の思想を資料に基づいて選ぶ読解力の問い。

問8 レポート内容に合致する文を選ぶ読解力の問い。

第3問 社会に関するエッセーを読みヨーロッパの思想や哲学についての理解を問う。

問1 エラスムスとトマス・モアについての基礎的基本的な知識を問う。①エラスムスは自由意志を肯定していることから誤文。②正文。③『ユートピア』は私有財産制度のない平等な理想社会を描いているので誤文。④トマス・モアはカソリックの立場から国王を批判したので誤文。

問2 スピノザ『神学・政治学』の一節を読み、内容の説明として最も適当なものを選ぶ読解力の問い。

問3 ヒューム懐疑論についての文章を読み、空所補充を通して、基礎的基本的な知識を確認する。因果関係は人間の心の習慣によると考え、客観性を否定し、人間の心を知覚の束と捉えるのがヒュームであるという知識を活用する力が求められる。

問4 ヘーゲルの「市民社会」についての基礎的基本的な知識を問う。

問5 百科全書派の思想について基礎的基本的な知識と資料の読解力をあわせて問う。啓蒙思想の性格からイの内容は誤文とわかる。資料読解からウは誤文とわかる。

問6 社会改良の思想としてのサン＝シモンとコントについて基礎的基本的な知識を問う。コントの実証主義やサン＝シモンの人道的な立場からの資本主義批判だけでは捉えきれない工夫がなされている。

問7 ハーバーマスの思想についての基礎的基本的な知識と資料の読解力をあわせて問う。ハーバーマスのコミュニケーション論から言えば①や②に示される道具的理性やシステム合理性をハーバーマスは否定しているので選択は③と④からに絞られる。あとは読解力である。

問8 会話文の趣旨に合致したものを選ぶ読解力の問い。

第4問 生徒が発表し議論する枠組みの中で青年期や現代の倫理に関して考える問題。

問1 個人と社会の関係から、サンデル、リースマン、ノージック及びサルトルの思想についての基礎的基本的な知識を確認する。アは「コミュニティ」「共通善」からサンデル、イは「孤独な群衆」からリースマンとわかる平易な問い。

- 問2 青年期のモラトリアムについての基礎的基本的な知識を問う。
- 問3 生命倫理に関する基礎的基本的な用語の知識を問う。
- 問4 高度情報社会の倫理の問題を考える。
- 問5 アーレントの思想について基礎的基本的な知識と資料の読解力をあわせて問う。
- 問6 ヤマアラシのジレンマの事例を選ぶ基礎的基本的な問い。
- 問7 環境倫理についての基礎的基本的な知識を問う。
- 問8 生きがいについての社会調査の結果を示す資料の読解についての問い。
- 問9 発表と議論を踏まえたさらなる会話を完成させるために適切な用語や表現を選ぶ思考力判断力を問う。思考力判断力が問われる。